

5. 検討の方向性・コンセプト

5. 検討の方向性・コンセプト

1. 駅前広場の拡張・再整備を行うことで、分散するバスやタクシー乗降場を集約化するなど、安全で利用しやすいモーダルコネク環境を整えます。また、国道16号追浜駅前交差点改良、市道追浜夏島線の改良計画などと整合を図ることで、追浜駅周辺の混雑の緩和、交通の円滑化を図ります。
2. 駅周辺の限られた土地の効率的・効果的な利用を図るため、立体道路制度を活用し、地域に点在する公共施設再編との連携や、駅施設の改良など官民協働による都市基盤整備に取り組みます。また、総合練習施設のあるプロ野球球団や地元企業などとの連携も視野に、賑わいと魅力ある「まち」づくりを進めます。
3. 再開発事業等と連携し、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者デッキの整備を行うなど、「まち」を利用するすべての方にとって、やさしい歩行者空間を創出します。
4. 老朽化が進む駐輪場を利用しやすい施設に再整備するとともに、EVなど環境に配慮したモビリティの推進、ICT技術を活用した効率的なバス等の運用、技術開発が進む自動運転バスなども見据えた駅前広場及び道路空間の整備を図ります。また、災害時の情報提供機能の確保など、防災機能も付加します。

この方針(案)に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で計画の具体化を図ります。

5. 検討の方向性・コンセプト

ポテンシャル

- 自動車や造船を中心とする産業が活発で、若い世代の人口が増加している地域
- プロ野球球団の拠点施設や、地元企業のスポーツイベント等、スポーツタウンとしての賑わい



課題

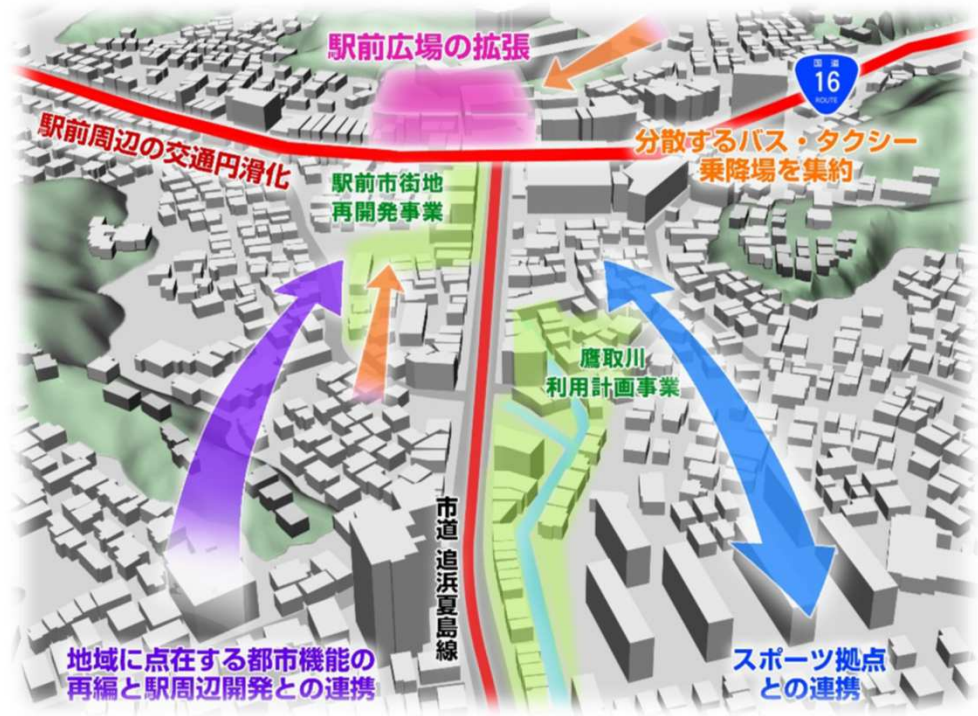
- 駅前広場が狭小で、バスやタクシーの乗降場が分散
- 駅周辺道路での交通混雑
- デッキ等がバリアフリー化されておらず、歩行者の回遊性に課題



駅前広場が狭小でバスと一般車が錯綜

先端技術とスポーツを通じて「世界」とつながる 追浜

『みんなで「夢」を育み、みんなに優しい、未来を見据えた駅前拠点の創出』



①歩行者回遊性の向上

- ・ユニバーサルデザインに配慮した歩行者デッキの整備 等

②防災機能の強化

- ・周辺住民や帰宅困難者等を考慮した防災情報提供施設の整備 等

③先端技術導入による移動効率化

- ・次世代モビリティなど先端技術の導入を見据えた駅前広場の整備 等

④まちづくりとの連携

- ・駅前再開発等と連携した整備 等